


第 63 回

パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

2016 年 1 月



■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所が 2000 年 6 月より四半期毎に実施しているアンケート調査。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI 値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI 値は+100 から-100 の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の 4 団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2015 年 12 月 15 日～2015 年 12 月 28 日

◇調査方法：

調査票をFAXにて送付・回収

◇回答状況：

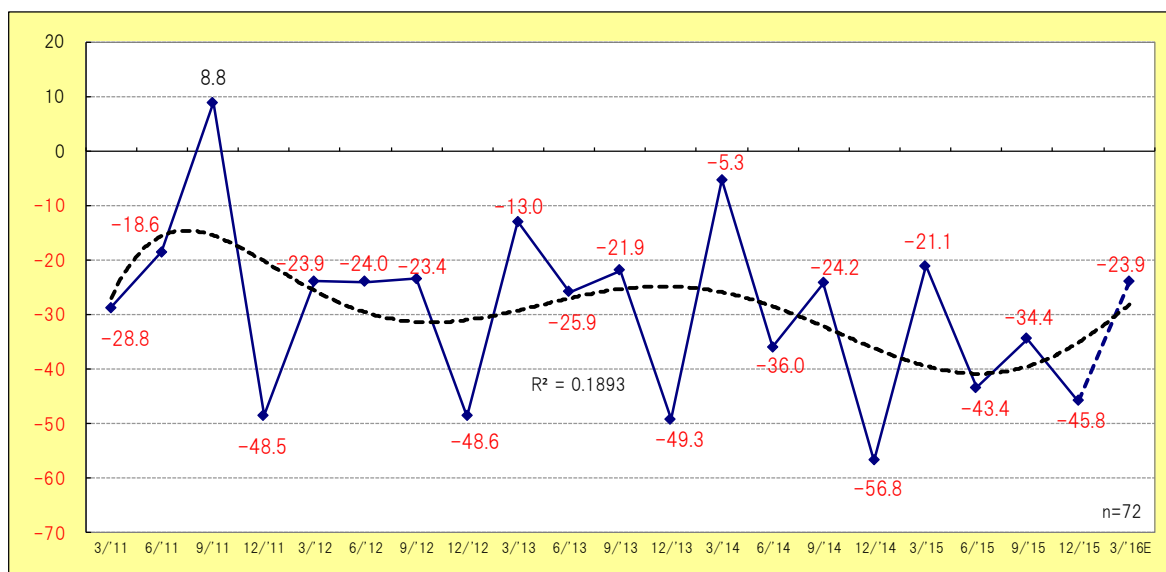
49 企業、72 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査結果ダイジェスト(1)「全般的業況」

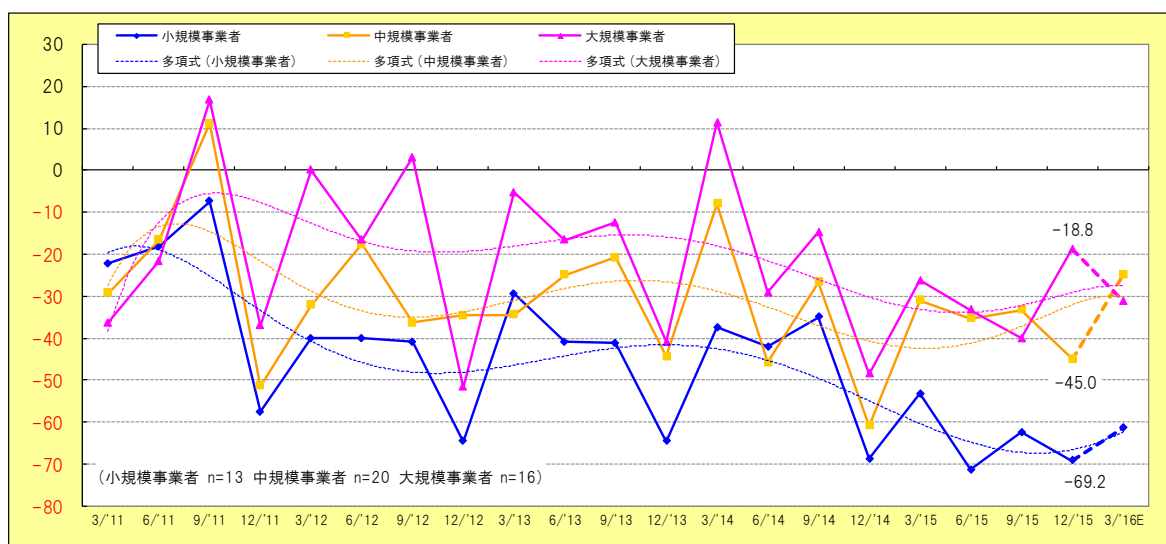
■全般的業況(収益を中心に売上、粗利など全般的な業況)

【事業者全体】



過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲34.4ポイントから▲45.8ポイント(前回比11.4悪化)まで悪化した。例年10月～12月期は業況が悪化する傾向にあるなかで、17期連続でマイナスとなった。3カ月後は▲23.9ポイントまで良化することが予想されている。

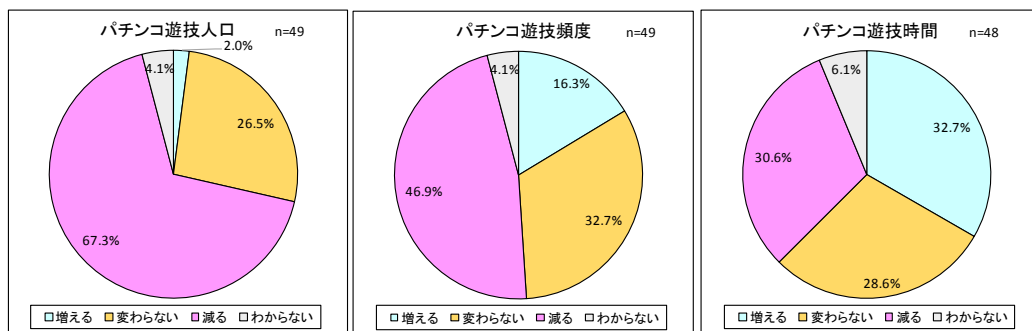
【事業者規模別】



「全般的業況」を事業者の規模別では、小規模事業者(1～3店舗)が▲69.2ポイント(前回比6.7悪化)、中規模事業者(4～10店舗)が▲45.0ポイント(前回比11.7悪化)、大規模事業者(11店舗以上)が▲18.8ポイント(前回比21.2良化)となり、大規模事業者の業況のみ良化が見られた。3カ月後の見通しについて、中規模と小規模事業者は改善を予想しているが、大規模事業者は悪化を予想している。

調査結果ダイジェスト(2)「現行機種撤去後の影響」

■現行機種撤去後の影響:遊技人口と頻度は「減る」が高く、遊技時間は拮抗

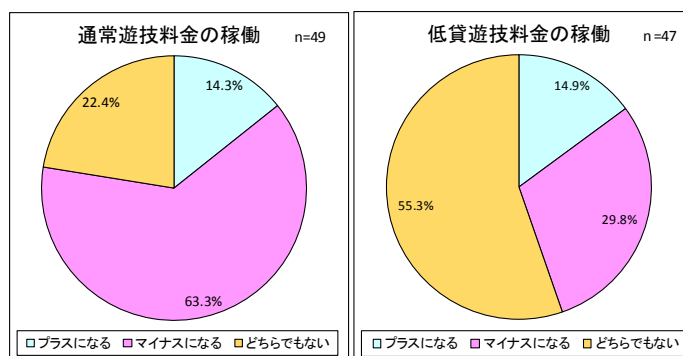


今回のトレンド・ウォッチでは、パチンコで MAX タイプが撤去され、高ベースの遊技機だけしか導入されなくなった場合の影響について質問した。上記は、高ベース遊技機だけになった場合の「遊技人口」、「遊技頻度」、「遊技時間」への影響について質問した結果である。「遊技人口」と「遊技頻度」では「減る」と回答した割合が最も高くなったものの、「遊技時間」は「わからない」を除くとそれぞれの割合で拮抗している。

■遊技料金別の稼働:通常遊技料金はマイナス、低貸遊技料金はどちらでもない

右図は、MAX タイプ撤去後に高ベース遊技機だけの導入になった場合における通常遊技料金と低貸遊技料金の稼働の見通しを質問した結果である。

通常遊技料金の稼働は「マイナスになる」が最も高く 63.3%、ついで「どちらでもない」が 22.4%となった。低貸遊技料金の稼働は「どちらでもない」が最も高く 55.3%、ついで「マイナスになる」が 29.8%となった。「プラスになる」はどちらも最も低かった。

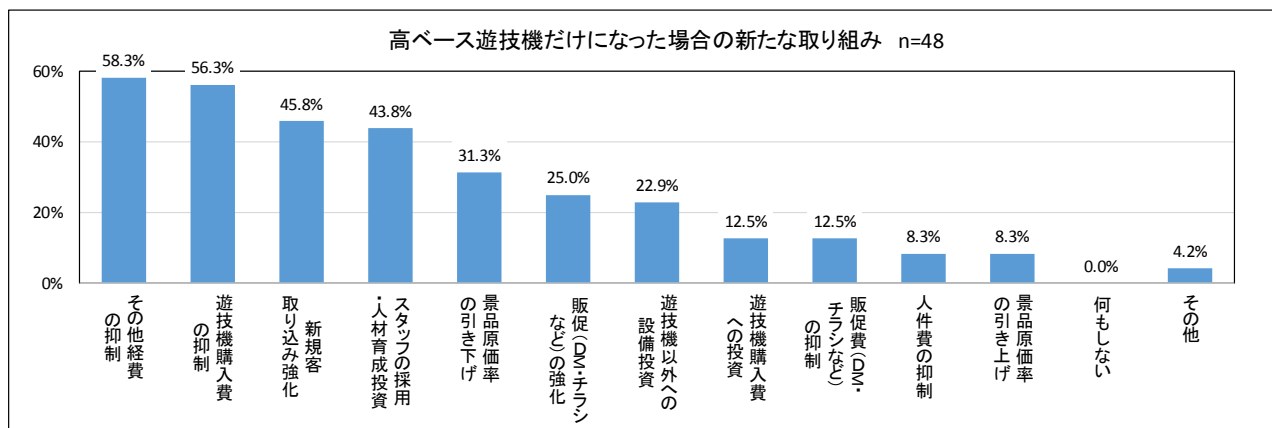


■新たな取り組み:その他経費や遊技機購入費の抑制が5割以上

下図は、高ベース遊技機だけになった場合の新たな取り組みについて質問した結果である。

最も高かったのは「その他経費の抑制」(58.3%)で、2番目に「遊技機購入費の抑制」(56.3%)となった。続いて「新規客取り込み強化」(45.8%)、「スタッフの採用・人材育成投資」(43.8%)が高くなった。

経費や遊技機購入費の抑制が上位となっているが、新たな取り組みとして新規客取り込みや人材育成などの機会点と考えている事業者も見られた。



主要指標数値(DI 値)結果

■全般的業況で悪化も、3 カ月後は良化する見込み






















「全般的業況」は、▲45.8 ポイント(前回比 11.4 悪化)となった。3 カ月後の見通しでは▲23.9 ポイントまでさらに悪化すると予想している。

「稼働状況」は、パチンコが▲43.1 ポイント(前回比 2.8 悪化)、パチスロは▲19.4 ポイント(前回比 14.5 良化)となった。3 カ月後における稼働状況の見通しは、パチンコ▲31.9 ポイント、パチスロ▲6.9 ポイントと良化が予想されている。






「資本投資気運(遊技機)」は▲30.0 ポイント(前回比 30.0 悪化)まで悪化し、3 カ月後は▲42.0 ポイントまで悪化する見通しである。「資本投資気運(その他設備)」は 2.0 ポイント(前回比 2.3 悪化)となり、3 カ月後の見通しは▲12.0 ポイントまで悪化すると予想している。

「不足感(雇用人員)」については、前回の▲50.0 ポイントから▲47.2 ポイントとなり、3 カ月後の見通しでは▲45.8 ポイントまで回復する見通しである。ただし、厳しい状況に変わりはない。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

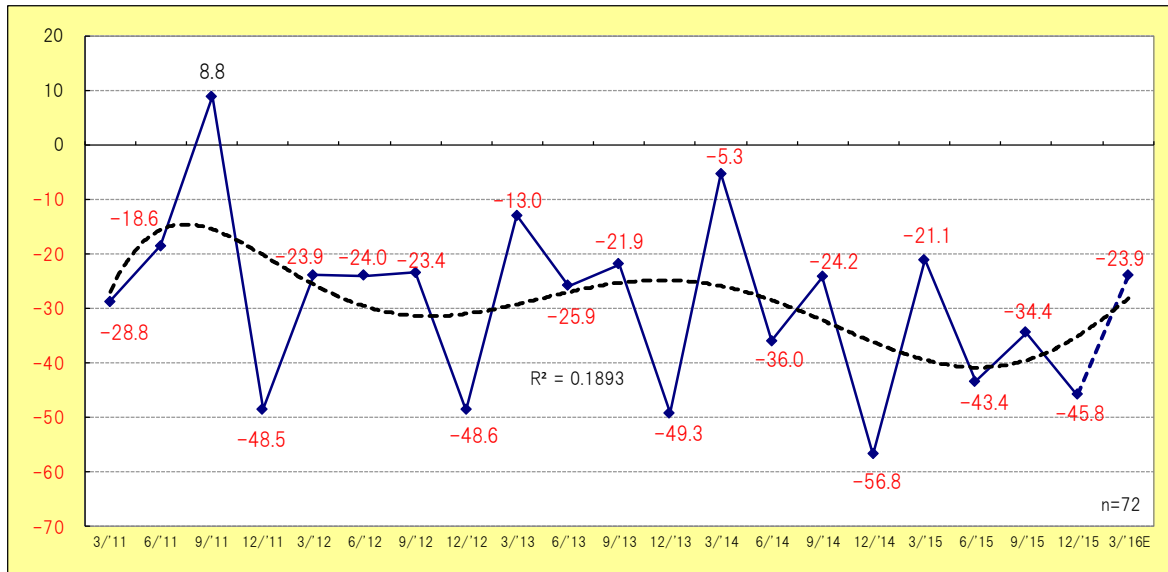
項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 -34.4	 -45.8	 -23.9	現状は引き続き雷雨 見通しは雨に良化
2. 稼働状況 (パチンコ)	 -40.3	 -43.1	 -31.9	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
3. 稼働状況 (パチスロ)	 -33.9	 -19.4	 -6.9	現状はは雨に良化 見通しは曇に良化
4. 資本投資気運 (遊技機)	 0.0	 -30.0	 -42.0	現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
5. 資本投資気運 (その他設備)	 4.3	 2.0	 -12.0	現状は引き続き曇 見通しは雨に悪化
6. 不足感 (営業用設備)	 6.5	 -20.8	 -18.1	現状は雨に悪化 見通しも引き続き雨
7. 不足感 (雇用人員)	 -50.0	 -47.2	 -45.8	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨

凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体) 注:2016年3月期(3/16E)の数値は見通し

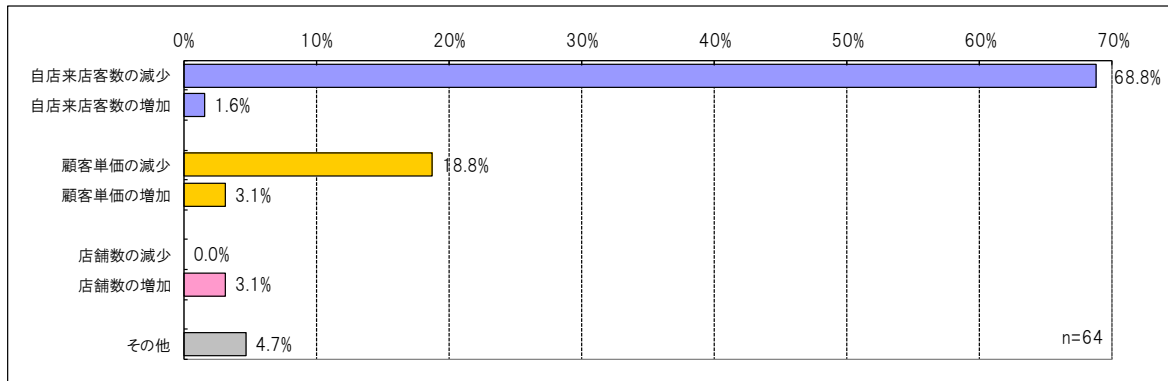
■全般的業況:17期連続マイナス、3カ月後は良化の見通し



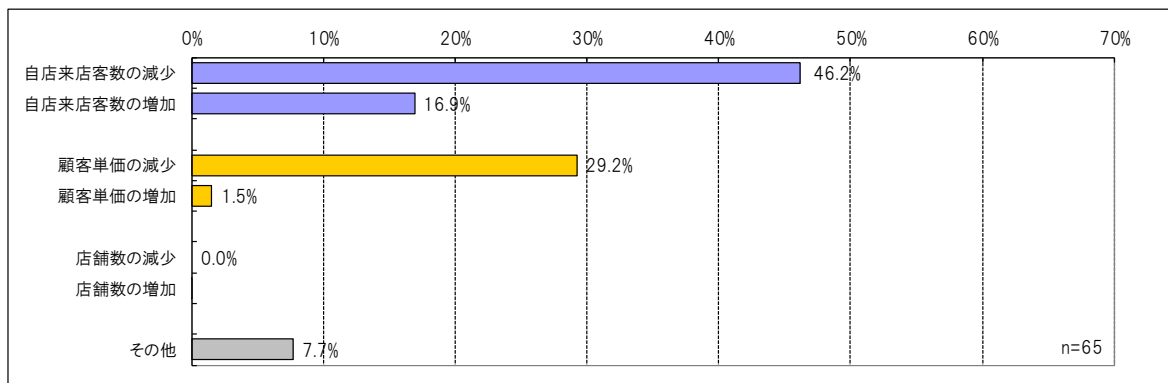
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲34.4ポイントから▲45.8ポイント(前回比11.4悪化)まで悪化した。例年10月～12月期に業況が悪化する傾向にあるなかで、17期連続でマイナスとなった。3カ月後は▲23.9ポイントまで良化することが予想されている。

■全般的業況の判断理由:業況低迷の主要因は「自店来店客数の減少」

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)

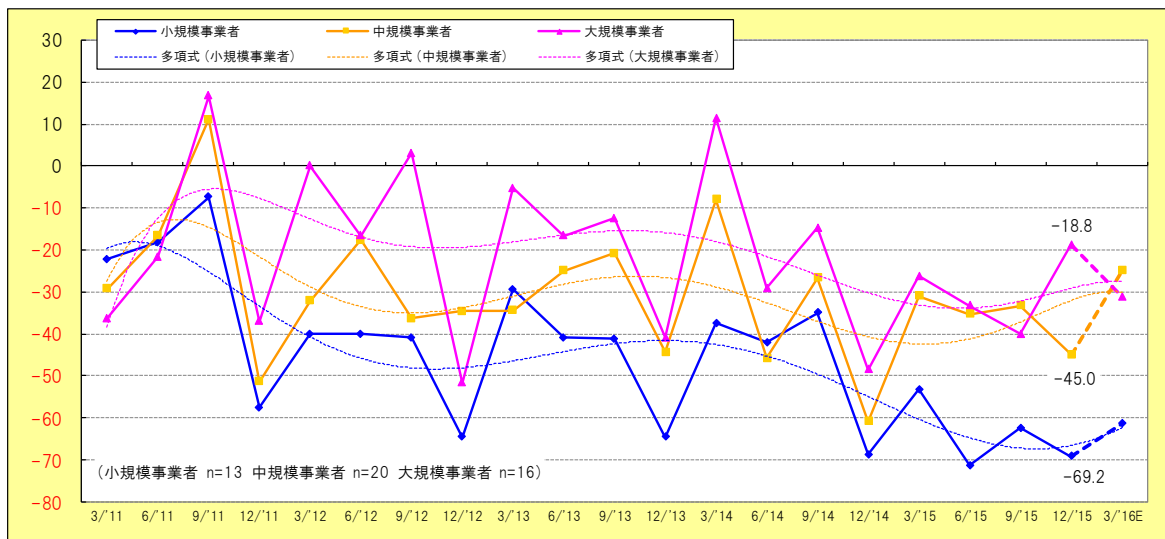


【先ゆき(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



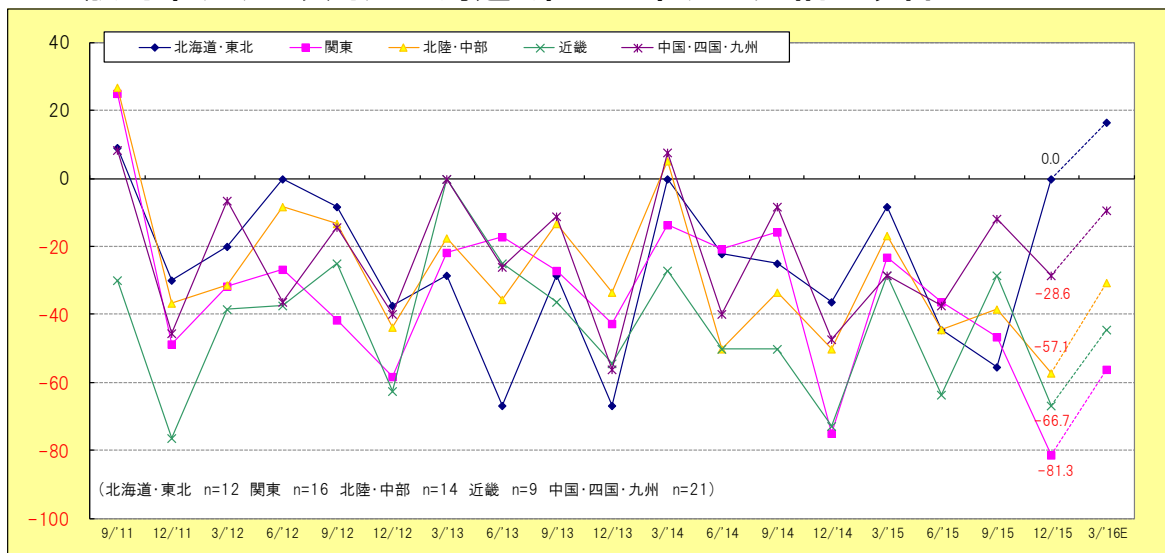
全般的業況(規模別・地域別) 注: 2016年3月期(3/16E)の数値は見通し

■全般的業況(規模別):大規模事業者の業況は良化



「全般的業況」を事業者の規模別では、小規模事業者(1~3 店舗)が▲69.2 ポイント(前回比 6.7 悪化)、中規模事業者(4~10 店舗)が▲45.0 ポイント(前回比 11.7 悪化)、大規模事業者(11 店舗以上)が▲18.8 ポイント(前回比 21.2 良化)となり、大規模事業者の業況のみ良化が見られた。3 カ月後の見通しについて、中規模と小規模事業者は改善を予想しているが、大規模事業者は悪化を予想している。

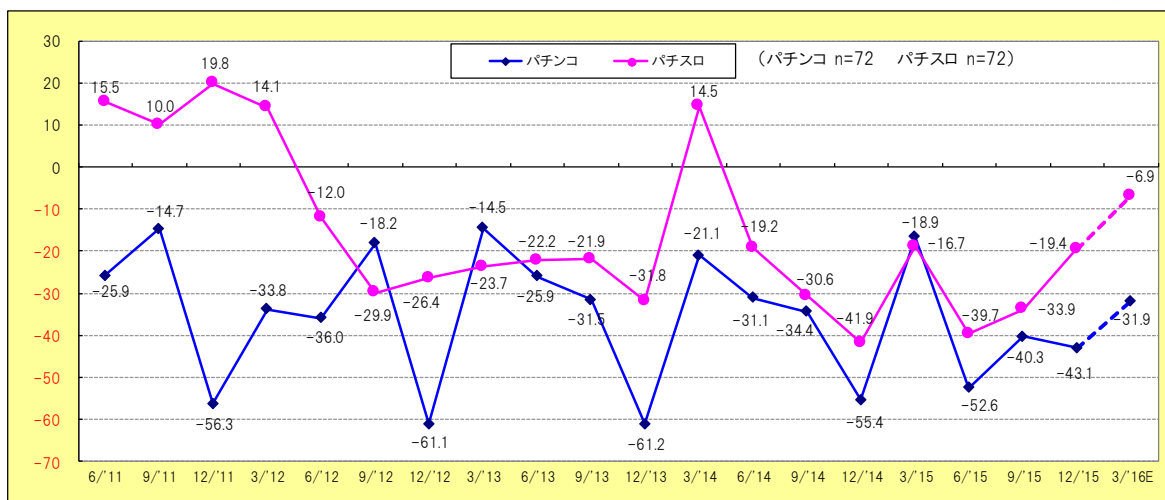
■全般的業況(地域別):北海道・東北の業況は大幅に改善



地域別の「全般的業況」は地域によって差がみられた。そのなかでも、最も業況が良かった地域は北海道・東北で±0 ポイント(前回比 55.6 良化)となった。ついで中国・四国・九州が▲28.6 ポイント(前回比 16.8 悪化)となった。一方、業況が低かったのは関東で▲81.3 ポイント(前回比 34.6 悪化)となった。3 カ月後の見通しについて、全地域で改善を予想している。

稼働状況(事業者全体) 注:2016年3月期(3/16E)の数値は見通し

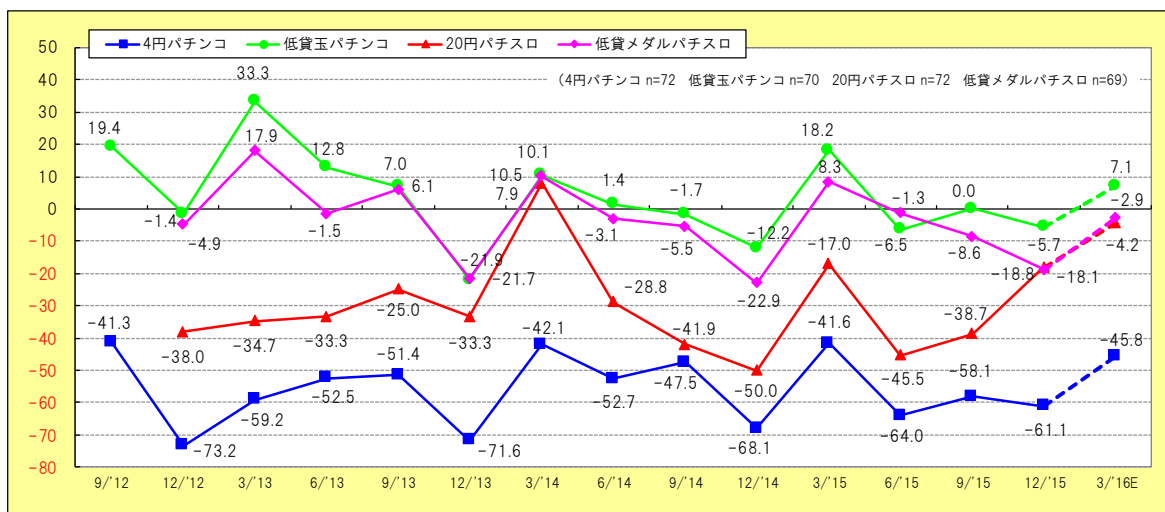
■ 稼働状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコはやや悪化、パチスロは良化



パチンコ稼働状況は▲43.1ポイント(前回比 2.8悪化)までやや悪化するも、3カ月後の見通しは▲31.9ポイントまで良化することが予想されている。

パチスロ稼働状況は▲19.4ポイント(前回比 14.5良化)まで良化し、3カ月後の見通しは▲6.9ポイントまで、良化することが予想されている。

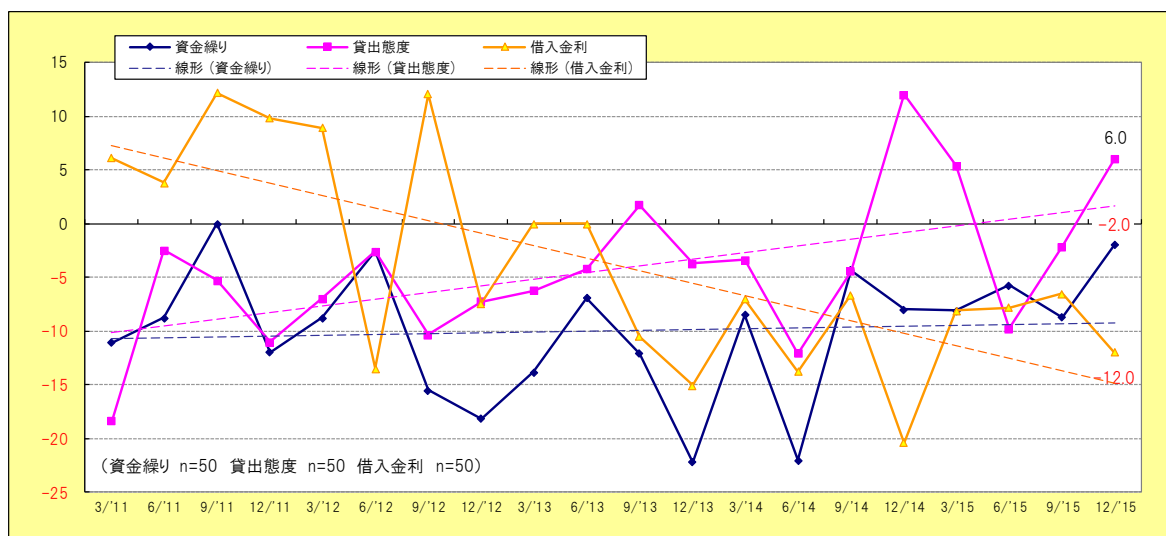
■ 稼働状況(遊技料金別):20円パチスロのみ良化



稼働状況を通常貸し遊技料金で見ると、4円パチンコは▲61.1ポイント(前回比 3.0悪化)となるが、3カ月後は▲45.8ポイントまで良化することが予想されている。20円パチスロの稼働状況は▲18.1ポイント(前回比 20.6良化)となり、3カ月後は▲4.2ポイントまで良化することが予想されている。

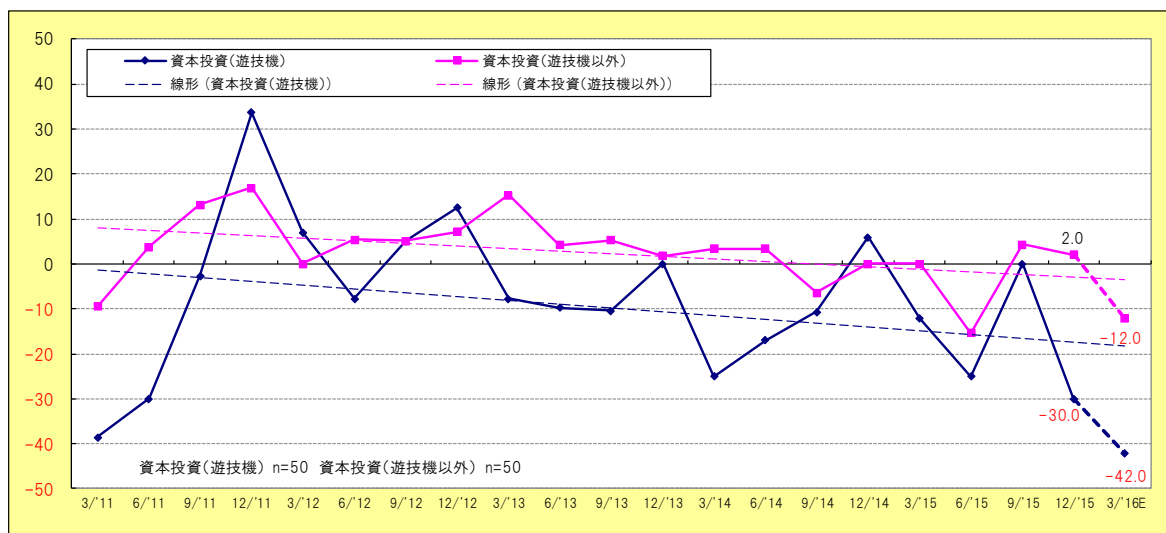
低貸し遊技料金においては、低貸玉パチンコが▲5.7ポイント(前回比 5.7悪化)、低貸メダルパチスロも▲18.8ポイント(前回比 10.2悪化)となった。3カ月後の見通しについて、低貸玉パチンコは 7.1ポイント、低貸メダルパチスロは▲2.9ポイントとどちらも良化すると予想している。

■ 企業金融: 貸出態度、資金繰りはやや良化、借入金利はやや悪化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲2.0ポイント(前回比 6.7 良化)、「貸出態度」6.0(前回比 8.2 良化)、「借入金利」▲12.0ポイント(前回比 5.5 悪化)となった。

■ 資本投資気運: 資本投資(遊技機)は大幅に悪化

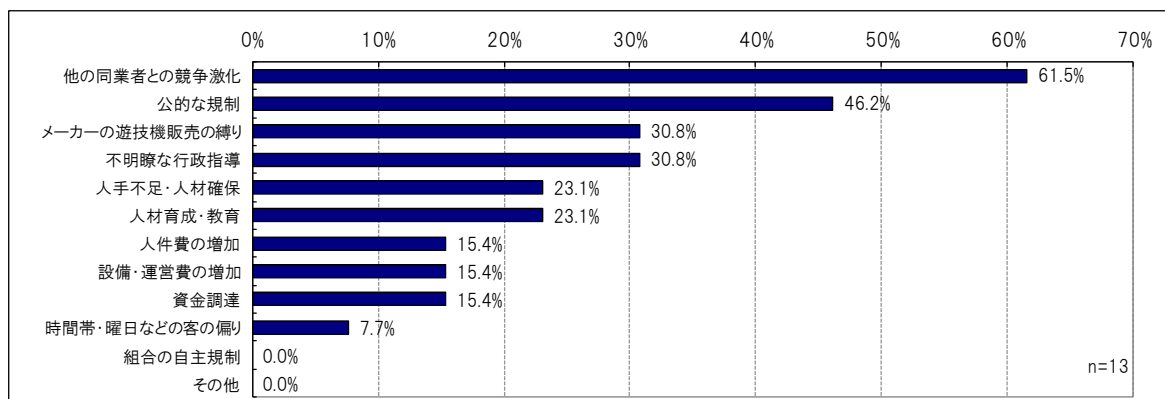


今回の「資本投資気運(遊技機)」は、前回の±0.0ポイントから▲30.0ポイントまで悪化した。3カ月後の見通しは▲42.0ポイントまで悪化すると予想している。

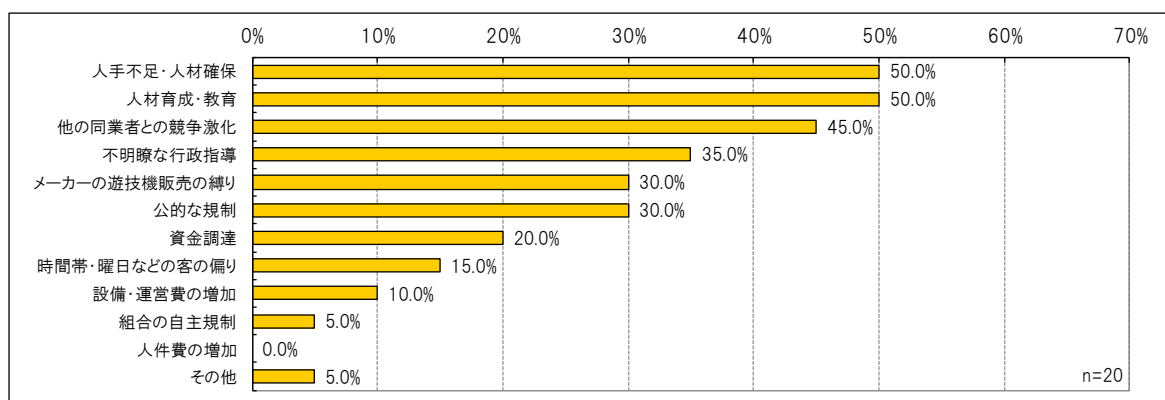
一方、「資本投資気運(遊技機以外の設備)」は、2.0ポイント(前回比 2.3 悪化)とプラスを維持している。3カ月後の見通しは▲12.0ポイントまで悪化すると予想している。

経営上の課題(事業者規模別) 注:複数回答

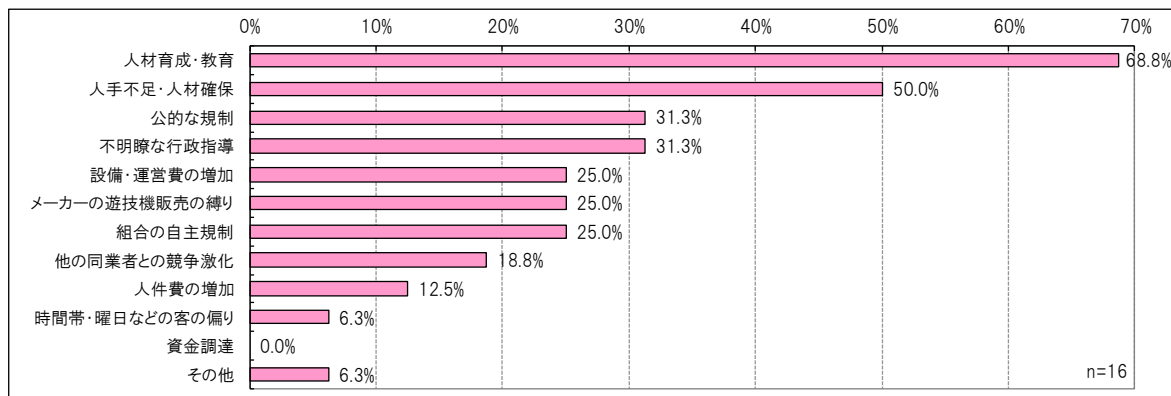
■小規模事業者:経営上の課題「他の同業者との競争激化」が6割



■中規模事業者:「人手不足・人材確保」「人材育成・教育」が5割



■大規模事業者:経営上の課題「人材育成・教育」が7割



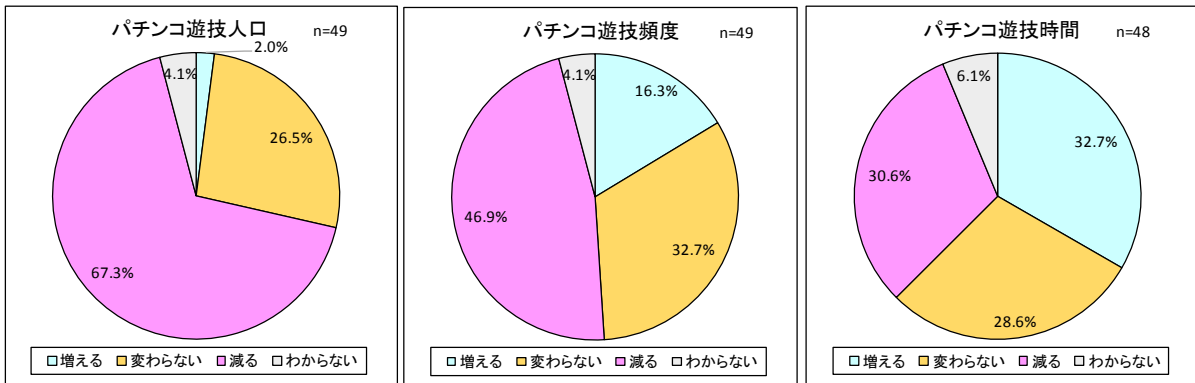
「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3店舗)は「他の同業者との競争激化」が61.5%と最大の課題となった。2番目に「公的な規制」を挙げており、46.2%となった。

中規模事業者(4~10店舗)は「人手不足・人材確保」「人材育成・教育」が50.0%と最大の課題となった。ついで「他の同業者との競争激化」を挙げており、45.0%となった。

大規模事業者(11店舗以上)は、「人材育成・教育」が68.8%と最も高かった。2番目に「人手不足・人材確保」を挙げており、50.0%となった。

トレンド・ウォッチ「現行機種撤去後の影響」

■現行機種撤去後の影響：遊技人口と頻度は「減る」が高く、時間は拮抗

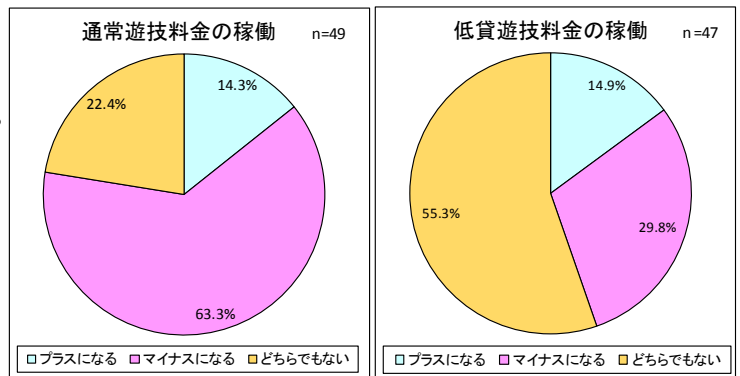


今回のトレンド・ウォッチでは、パチンコで MAX タイプが撤去され、高ベース遊技機だけしか導入されなくなった場合の影響について質問した。上記は高ベース遊技機だけになった場合の「遊技人口」、「遊技頻度」、「遊技時間」への影響について質問した結果である。「遊技人口」と「遊技頻度」では「減る」と回答した割合がそれぞれ 67.3%、46.9%と最も高かったが、「遊技時間」は「わからない」を除き、それぞれの割合が拮抗している。

■遊技料金別の稼働：通常遊技料金はマイナス、低貸遊技料金はどちらでもない

右図は、MAX タイプ撤去後に高ベース遊技機だけの導入になった場合における通常遊技料金と低貸遊技料金の稼働の見通しを質問した結果である。

通常遊技料金の稼働は「マイナスになる」が最も高く 63.3%、ついで「どちらでもない」が 22.4%となった。一方、低貸遊技料金の稼働は「どちらでもない」が最も高く 55.3%、ついで「マイナスになる」が 29.8%となった。「プラスになる」はどちらも最も低い結果となった。



■高ベース遊技機時代における稼働の見通し理由

○「プラスになる」のコメント

- ・遊びやすくなり、本来の遊技に戻ることができるため。(関東・中規模事業者)
- ・玉単価の低下により、利益的に見れば厳しくなるかもしれないが、稼働は伸びると思う。(東北・中規模事業者)
- ・MAX タイプ偏重から脱却し、遊べる営業を目指す取り組みができるため。(関東・中規模事業者)
- ・レートを下げた営業で逆に稼働はアップし、ニーズとマッチしていると考え。(関東・中規模事業者)
- ・当店はもともとマックスタイプの比率が低いので今回の件は影響が少ない。4 円ライトタイプの稼働アップが見込まれる。(近畿・小規模事業者、北海道・中規模事業者)

△「どちらでもない」のコメント

- ・通常遊技料金では玉単価が減少する分、夕方以降の遊技時間が増加し、景品交換率の引き下げで勝率が上がることで来店頻度が増加すると考える。低貸遊技料金では現状の遊技サイクルが定着化しているので、大きな変化はないと考える。(東北・大規模事業者)

・カジノのルーレットなどで倍率を下げたらゲーム性や深みが損なわれるのと同様に、通常遊技料金では遊技客の減少につながるだろう。一方、低貸遊技料金はあまり変わらないと考える。(中部・中規模事業者)

×「マイナスになる」のコメント

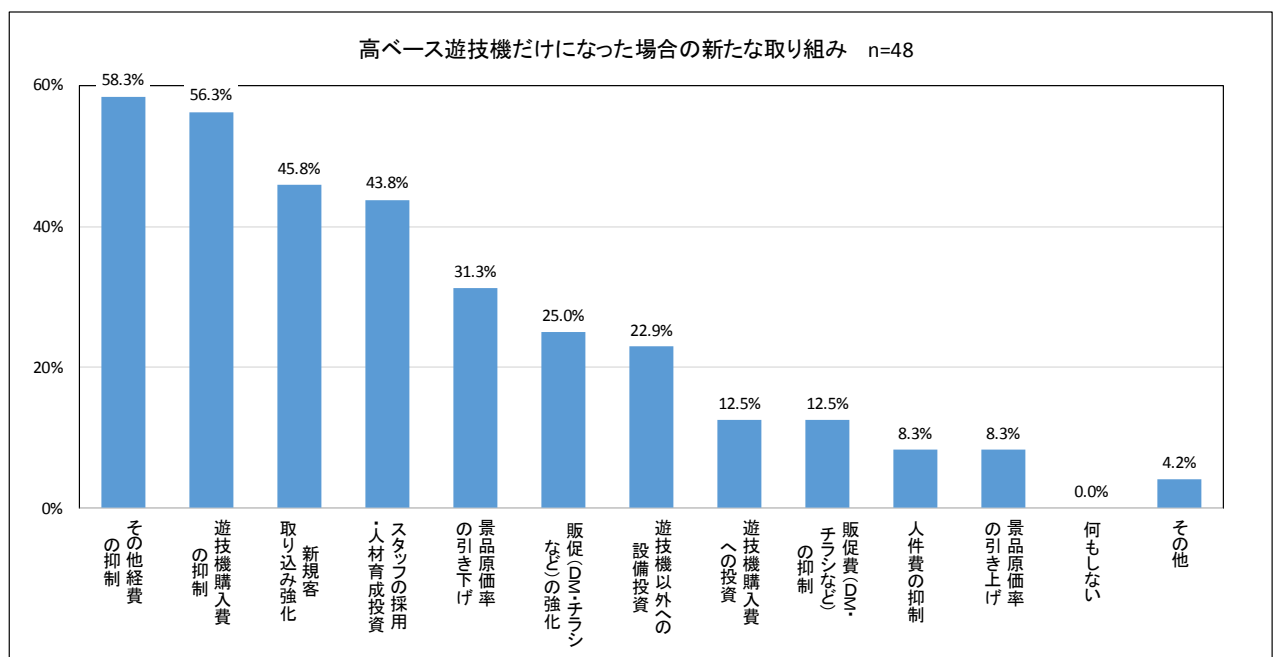
- ・機種構成が選択肢の幅が狭くなるので今よりも厳しくなる。(関東・中規模事業者)
- ・MAX タイプで遊んでいたお客様が高ベース遊技機で遊ぶのが不透明なため。(関東・中規模事業者)
- ・来店動機が減少するため。(九州・大規模事業者)
- ・ヘビープレイヤーは射幸性の高い MAX タイプを支持しているので、全ての遊技料金で稼働に影響があると考えています。(関東・大規模事業者)
- ・遊技機の確率が 1/100~1/320 の幅に狭まるので MAX タイプ好きのお客様は困惑するだろう。投資するなら 1/320 の遊技機に偏るが、それでも今より客単価を減少させることになるだろう。(中国・小規模事業者)
- ・低貸遊技料金はさほど影響ないと思うが、4 円パチンコはいったん客足が遠のく。その後戻って来るかもしれないが、一時的にはマイナスになると考える。(中国・中規模事業者、他 2 事業者)
- ・自主規制により全店舗の経営が苦しい。護送船団的な組合の規制では、現在の経営は成り立たない。経営努力をしても自主規制が足かせとなっている。(中部・大規模事業者)
- ・パチスロ専門店が中心の弊社にとって、このような動きをされるとパチスロ増台などの対応をする競合店が増えることになるため。(中国・中規模事業者)

■新たな取り組み:その他経費や遊技機購入費の抑制が 5 割以上

下図は、高ベース遊技機だけになった場合の新たな取り組みについて複数回答で質問した結果である。

最も高かったのは「その他経費の抑制」(58.3%)で、2 番目に「遊技機購入費の抑制」(56.3%)となった。続いて「新規客取り込み強化」(45.8%)、「スタッフの採用・人材育成投資」(43.8%)が高くなった。

経費や遊技機購入費の抑制が上位となっているが、新たな取り組みとして新規客取り込みや人材育成などの機会点と考えている事業者も見られた。



コメント(自由回答)抜粋

■「現行機種が撤去された場合の影響」、および現状・先行きに対するご意見

現行機種が撤去された場合の影響に関するコメント

- ◆パチンコ業界の将来にとって結果的に良い方向に進むきっかけなると考えている。ただし、パチンコ店・メーカー・周辺業者が私利私欲を捨て、「お客様」が我々の原資の全てであることを今一度考え直さなくてはならない。(近畿・中規模事業者)
- ◆この 20 年が異常で普通の遊技機に戻るだけのこと。昔からの経営者であれば、今回の件は理解できるはずだ。「許可営業」であることを認識すべきである。(近畿・小規模事業者)
- ◆メーカーによる釘問題は店(顧客)の要望と無関係ではない。それを容認していた業界全体の問題として猛省し、新たなスタートを切られなければ将来はない。(関東・小規模事業者)
- ◆期限付きの撤去はないと考えているが、釘問題が解決しない現行の遊技機をどうするのか。警察のシナリオを理解できない組合のトップはいらない。(中部・大規模事業者)
- ◆非常に危機感はあるが高ベース遊技機が必ずしも悪いと思わない。消費金額の抑制や遊びやすさを体感できれば、稼動上昇による売上維持もあると期待する。(関東・中規模事業者)
- ◆高ベースになることで、遊技時間の上昇につながることを期待します。(中国・大規模事業者)
- ◆ライトプレイヤーが増える可能性があるのは良いことだと思う。(関東・中規模事業者)
- ◆お客様の数は減らないと思います。稼動は伸びても利益には繋がらないので、遊技機購入費を減らすことによって、利益の確保をしたいと思います。(東北・小規模事業者)
- ◆高ベースに合った遊技機が 2016 年末以降に出ると考えているが、それまでは現行機撤去により MAX タイプを好む層が離反し、稼働が下がると想定している。(中部・大規模事業者)
- ◆色々な問題に直面しているが、まずパチンコ・パチスロの遊技人口を増やすことを考える必要がある。その延長戦上で 1/320 を下限とする遊技機であればよいと思うがどうなのか。(関東・小規模事業者)
- ◆現行機がなくなったら MAX タイププレイヤーは、パチスロへ流動するだろう。(関東・小規模事業者)

現状・先行きに関するコメント

- ◆MAX タイプ規制、釘、そして不適正遊技機の問題はパチンコ店を越えて、メーカーにまで問題が及んだ。メーカーの問題になって多少トーンダウンしたが、依然としてカジノ法案を想定した対応は続くと思う。軽減税率のためのパチンコ税など標的にされやすい。(東北・小規模事業者)
- ◆遊技機単価の引き下げと封入式への移行を早く明確にしてほしい。入替費用は必要なものには投資するが、闇雲な投資はお客様の負担が増えるので避けたい。(関東・中規模事業者)
- ◆全国统一した規制とシステムにすることが不可欠。(関東・小規模事業者)
- ◆各エリアで稼動順位が大きく変動すると予測しています。弊社では大きなチャンスととらえ、お客様が求める商品作りを積み重ねている。また、メーカーの煽りに翻弄されないためにも、5 団体からの情報提供を期待している。(九州・中規模事業者)
- ◆高ベース遊技機が主流となるのに神奈川県ではいまだに交換率変更の話合いがない。業界の先行きへの不安は理解しても競争が前面にきて動かない。全日遊連のリーダーシップで全国の交換率変更を進めてほしい。2~3 年我慢するだろうが、お客様が慣れるまでの辛抱と考える。(関東・中規模事業者)
- ◆遊パチ導入時の概念が今となっては崩壊している。今のライトタイプの玉利は MAX タイプ並みであり、お客様の減少に歯止めはかからないだろう。(中国・中規模事業者)
- ◆マスコミ、インターネットでの書き込みによる風評被害の影響が出て、混乱する恐れがあるのではないか。(九州・大規模事業者、中国・中規模事業者)
- ◆現状に危機感を持つパチンコ店経営者があまりにも少ないのではないかと。(中部・大規模事業者)
- ◆現状についてプレイヤー側の声を聞いてみたい。(関東・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-62.5	-69.2	-61.5	-33.3	-45.0	-25.0	-40.0	-18.8	-31.3	-34.4	-45.8	-23.9
稼働状況(パチンコ)	-64.7	-53.8	-46.2	-53.3	-50.0	-50.0	-33.3	-31.3	-37.5	-40.3	-43.1	-31.9
稼働状況(パチスロ)	-58.8	-53.8	-53.8	-26.7	-10.0	5.0	-40.0	6.3	-12.5	-33.9	-19.4	-6.9
資本投資気運(遊技機)	23.5	-46.2	-69.2	-13.3	-15.0	-25.0	-14.3	-31.3	-43.8	0.0	-30.0	-42.0
資本投資気運(その他設備)	0.0	-23.1	-30.8	0.0	0.0	-10.0	14.3	25.0	0.0	4.3	2.0	-12.0
不足感(営業用設備)	11.8	-30.8	-38.5	0.0	-15.0	-25.0	13.3	6.3	0.0	6.5	-20.8	-18.1
不足感(雇用人員)	-41.2	-15.4	-15.4	-46.7	-75.0	-70.0	-80.0	-68.8	-68.8	-50.0	-47.2	-45.8

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-55.6	0.0	16.7	-46.7	-81.3	-56.3	-38.5	-57.1	-30.8
稼働状況(パチンコ)	-55.6	-16.7	-8.3	-40.0	-56.3	-50.0	-53.8	-35.7	-28.6
稼働状況(パチスロ)	-44.4	8.3	16.7	-20.0	-43.8	-31.3	-38.5	-35.7	-14.3
不足感(営業用設備)	11.1	-16.7	-16.7	-6.7	-25.0	-18.8	15.4	-21.4	-7.1
不足感(雇用人員)	-44.4	-50.0	-50.0	-53.3	-37.5	-43.8	-38.5	-42.9	-42.9
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-28.6	-66.7	-44.4	-11.8	-28.6	-9.5	-34.4	-45.8	-23.9
稼働状況(パチンコ)	-25.0	-44.4	-33.3	-29.4	-52.4	-33.3	-40.3	-43.1	-31.9
稼働状況(パチスロ)	-37.5	-22.2	-22.2	-35.3	-4.8	9.5	-33.9	-19.4	-6.9
不足感(営業用設備)	25.0	-22.2	-33.3	0.0	-19.0	-19.0	6.5	-20.8	-18.1
不足感(雇用人員)	-37.5	-44.4	-44.4	-64.7	-57.1	-47.6	-50.0	-47.2	-45.8

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-35.7	-29.4	-15.4	-5.9	6.7	-10.0	11.8	0.0	18.8	-5.8	-8.7	-2.0
貸出態度	-21.4	5.9	0.0	-17.6	-6.7	0.0	0.0	-7.1	18.8	-9.8	-2.2	6.0
借入金利	-7.1	-5.9	-7.7	-5.9	0.0	-5.0	-12.5	-14.3	-25.0	-7.8	-6.5	-12.0

* 全般的業況 n=72、稼働状況(パチンコ)n=72、稼働状況(パチスロ)n=72、資本投資気運(遊技機)n=49、資本投資気運(その他設備)n=49、不足感(営業用設備)n=72、不足感(雇用人員)n=72、資金繰りn=49、貸出態度n=49、借入金利n=49

* 小規模事業者=3店舗以下、中規模事業者=4~10店舗、大規模事業者=11店舗以上

第 63 回調査質問票

F1. 貴社が保有されている全営業店舗数を回答してください。(__店舗)

F2. 貴社が営業されている店舗は以下のどの地域に属しますか？ 該当する地域すべてについて、問 1 から問 5 までそれぞれ回答してください。

- A. 北海道
- B. 東北(青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県)
- C. 関東(茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県)
- D. 北陸(新潟県 富山県 石川県 福井県)
- E. 中部(山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県)
- F. 近畿(滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県)
- G. 中国(鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県)
- H. 四国(徳島県 香川県 愛媛県 高知県)
- I. 九州(福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県)

I. 以下の設問には、保有される店舗が属する F2. で示した地域ごとに回答してください。

問 1. 【業況】貴社における、収益を中心に売上や粗利といった全般的な業況について。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 1-1. 問 1 で業況判断をした理由について、下記項目から何が最も影響しているのか、『現況』と『先行き』それぞれあてはまる項目を記号で回答してください。(回答用紙に記号を1つだけ記入してください)

①現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)の業況判断の理由

②先行き(3 ヶ月後まで)の業況判断の理由

- a. 店舗数の増加(増台含む) b. 来店客数の増加 c. 顧客単価の増加 d. 店舗数の減少(減台含む) e. 来店客数の減少 f. 顧客単価の減少 g. その他

問 2. 【営業用設備】貴社の日常的営業活動において、遊技機を中心とした営業用設備(券売機、計数機などを含む。但し定期的な点検・修繕などによる一時的不足は除く)について。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

問 3. 【雇用】貴社の雇用人員について。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 過剰 b. 適正 c. 不足]

問 4. 【稼働状況/パチンコ】貴社における、パチンコ遊技機の全般的な稼働状況について。

※ここでは、4 円パチンコや低貸玉パチンコを含めたパチンコ全般を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 4-1. 【4 円パチンコ】※ここでは、4 円パチンコの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ 1 ヶ月)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

②「先行き(3 ヶ月後まで)」では[a. 良い b. さほど良くない c. 悪い]

付問 4-2.【低貸玉パチンコ】※ここでは、低貸玉パチンコの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ1ヶ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3ヶ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

問 5.【稼働状況/パチスロ】貴社における、パチスロ遊技機の全般的な稼働状況について。

※ここでは、20円パチスロや低貸メダルを含めたパチスロ全般を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ1ヶ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3ヶ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

付問 5-1.【20円パチスロ】※ここでは、20円パチスロの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ1ヶ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3ヶ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

付問 5-2.【低貸メダルパチスロ】※ここでは、低貸メダルの状況を回答してください。

①「現況(現在を含めたここ1ヶ月)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

②「先行き(3ヶ月後まで)」では〔 a. 良い b. さほど良くない c. 悪い 〕

II. 以下の設問は、保有店舗全体について企業単位で回答してください。

問 6.【資金繰り】貴社における資金繰りについて。

①「現況(現在を含めたここ1ヶ月)」では〔 a. 楽である b. さほど苦しくない c. 苦しい 〕

問 7.【貸出態度】貴社に対する金融機関の貸出態度について。

①「現況(現在を含めたここ1ヶ月)」では〔 a. 緩い b. さほど厳しくない c. 厳しい 〕

問 8.【借入金利】貴社における金融機関の借入金利変化について。

①「(3ヶ月前に比べて)現在の変化」では〔 a. 上昇 b. 変わらない c. 低下 〕

問 9.【資本投資/遊技機】貴社において、遊技機に対する資本投資の変化について。

①「(3ヶ月前に比べて)現在の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

②「先行き(3ヶ月後まで)の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

問 10.【資本投資/設備】貴社において、遊技機以外の設備に対する資本投資の変化について。

①「(3ヶ月前に比べて)現在の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

②「先行き(3ヶ月後まで)の変化」では〔 a. 増加 b. 変わらない c. 減少 〕

問 11.【経営上の課題】貴社における経営上の課題として重要なもの上位3つを選んで回答欄に記号でお答えください。

- a. 人件費の増加 b. 設備・運営費の増加 c. 人手不足・人材確保 d. 人材育成・教育 e. 資金調達 f. メーカーの遊技機販売の縛り g. 公的な規制 h. 不明瞭な行政指導 i. 組合の自主規制 j. 他の同業者との競争激化 k. 時間帯・曜日などの客の偏り l. その他()

Ⅲ. トレンド・ウォッチ ～現行機種が撤去された場合の影響について～

2015年11月から、パチンコでは今までのMAXタイプが発売されなくなり、大当たり確率は1/320までとなりました。2016年5月以降はこれに加えて、確変継続率65%を上限とするパチンコ機が発売されるようになります。また、遊技産業健全化推進機構の「遊技機性能調査」の結果を受けて、一般入賞口への入賞回数も大幅に増加した高ベース遊技機になることが今後予想されます。その他、既存のMAXタイプは本来の遊技機性能ではないことから早期に撤去する必要があるとの話も出ています。

そこで今回は、パチンコでMAXタイプが撤去され、高ベースの遊技機だけしか導入されなくなった場合の影響についてうかがいます。

問12. パチンコでMAXタイプが撤去され、高ベースの遊技機だけになった場合、パチンコの遊技人口や遊技頻度、遊技時間にどのような影響を及ぼすと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ①遊技人口：（ a. 増える b. 変わらない c. 減る d. わからない ）
- ②遊技頻度：（ a. 増える b. 変わらない c. 減る d. わからない ）
- ③遊技時間：（ a. 増える b. 変わらない c. 減る d. わからない ）

問13. 上記機種だけになった場合、「自社」の稼働にどのような影響があると思いますか。あてはまるもの1つにそれぞれ○をつけてください。また、そのように感じる理由についても記入してください。

- ①自社の通常遊技料金の稼働にとって：（ a. プラスになる b. マイナスになる c. どちらでもない ）
- ②自社の低貸遊技料金の稼働にとって：（ a. プラスになる b. マイナスになる c. どちらでもない ）

理由

()

問14. 上記機種だけになった場合、新たにどのような取り組みをしていきたいと考えますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- a. 遊技機購入費への投資 b. 販促(DM・チラシなど)の強化 c. スタッフの採用・人材育成投資
- d. 遊技機以外への設備投資 e. 遊技機購入費の抑制 f. 販促費(DM・チラシなど)の抑制
- g. 人件費の抑制 h. その他経費の抑制 i. 景品原価率の引き上げ
- j. 景品原価率の引き下げ k. 新規客取り込み強化 l. 何もしない m. その他()



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-5 石川興産ビル4F
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 Web:www.eb-i.jp

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

Copyright© 2015 Entertainment Business Institute. All rights reserved.